総務省自治大学校 Local Autonomy College

講義・演習概要（シラバス）

第２部課程第１６７期（平成 25 年 5 月 9 日～7 月 17 日）

課　目　名	6-10 首長講演
時　限　数	１時限
担 当 講 師	遠野市長　本田敏秋 ＜プロフィール＞ 昭和４５年　岩手県教育委員会事務局総務課採用 平成　５年　同企画調整部科学技術振興室長 平成　７年　同総務部消防防災課長 平成　９年　同商工労働観光部工業振興課長 平成１１年　同企画振興部企画調整課長 平成１２年　同久慈地方振興局長 平成１３年　同退職 平成１４年　遠野市長就任 平成１７年　初代（新）遠野市長就任（現在２期目）
ね　ら　い	首長から自治体経営の取り組みを紹介してもらうことにより、研修生に実践的な観点からの行政経営手法を学んでもらう。※対象：係長級以上職員
講 義 概 要	講義表題【現場主義から見た東日本大震災】 「復興加速年」としての平成 25 年度。沿岸地域では今なお多くの方が仮設住宅で暮らし、地域の復興を待ち望んでいます。 甚大な被害をもたらした東日本大震災は、私たちに多くの問題を突きつけました。そして、これからの自治体運営のあり方が問われています。 講義では、当市が沿岸被災地後方支援活動を行った経緯、そして混乱を極めた支援活動の現場の様子から見えてきた広域災害における自治体間の水平連携の仕組みづくりの必要性、そして本格的な人口減少社会における「人と人、地域と地域のつながり」の大切さを伝えたいと考えています。 当市が行った沿岸被災地後方支援活動の取り組みを、地域経営の今後のあり方を検討する際の参考としていただければと思います。
受講上の注意	特になし
使 用 教 材	・講義レジメ（パワーポイントを印刷したもの、その他、参考資料配付予定
効 果 測 定	なし
そ　の　他 （他の課目との関連）	なし